

令和 7 年度
千葉大学大学院教育学研究科
一般選抜学力検査問題

学校教育学専攻
教育発達支援系
養護教育問題群

選 択 科 目	
共通問題	1 ページ～2 ページ
選択問題 1	3 ページ
選択問題 2	4 ページ

【 注 意 事 項 】

1. 「解答始め」の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. この冊子は、表紙を除いて 4 ページです。選択科目が印刷されています。
3. 試験時間は、10：00～12：00 です。
4. 解答用紙は 3 枚です。すべての解答用紙の所定欄に受験番号を必ず記入すること。記入漏れの解答用紙は採点できないことがあります。
5. 共通問題は、受験生すべてが解答すること。
6. 選択問題は、選択問題 1（3 ページ）から選択問題 2（4 ページ）まであります。
これより一つの問題を選び、解答すること。解答用紙の問題番号欄に、選択した問題に該当する番号を記入し、解答すること。
7. 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
8. 問題冊子は、持ち帰ることができます。

学校教育学専攻 教育発達支援系 養護教育問題群

選択科目 共通問題

問題1 次の問いに答えなさい。(100点)

文部科学省学校保健統計調査によると、児童生徒の裸眼視力 1.0 未満の者の割合は調査開始の昭和 54 年から一貫して増加傾向にあり、令和 3 年度以降、小・中・高等学校では過去最高を更新し続けている¹⁾。

そこで、日本における児童生徒の視力低下の背景と、近視の進行抑制に十分な対策が講じられていない要因を考察し、児童生徒の視力低下防止のためにどのような教育活動を展開するか述べなさい。

＊ 1) 令和 5 年度児童生徒の近視実態調査事業結果報告書

https://www.mext.go.jp/content/20240730_mxt_kenshoku-000031776_13.pdf

学校教育学専攻 教育発達支援系 養護教育問題群

選択科目 共通問題

問題2 次の英文を和訳しなさい。(50点)

著作権の観点から、公表していません

Tylka, T. L. and Piran, N. (Eds.) *Handbook of positive body image and embodiment: Constructs, protective factors, and interventions*. (Oxford University Press, 2019)
p.118 より引用

学校教育学専攻 教育発達支援系 養護教育問題群

選択科目 選択問題

問題1 次の問いに答えなさい。(50点)

児童における過度なスクリーンタイム*は世界的な懸念事項となっています。表は、2018年に富山県内の小学校110校の4年生から6年生13,413人を対象として行われた質問票調査の結果として、特徴ごとに過度なスクリーンタイムを示す児童の割合を表しています。児童における過度なスクリーンタイムを改善するために、学校ではどのような支援ができるでしょうか。表の結果を踏まえて、あなたの考えを述べなさい。

著作権の観点から、公表していません

学校教育学専攻 教育発達支援系 養護教育問題群

選択科目 選択問題

問題2 次の問いに答えなさい。(50点)

2024年2月に厚生労働省が策定した「健康づくりのための睡眠ガイド2023」では、小学生は9～12時間、中高生は8～10時間の睡眠時間の確保が推奨されています。睡眠不足による児童および生徒へのリスクを述べなさい。また、推奨される睡眠時間を確保するための対策について、あなたの考えを述べなさい。

教育発達支援系養護教育問題群

選択科目合計得点

選択科目
共通問題

受験番号	E1M -
------	-------

共通問題 合計得点	
--------------	--

問題 1

得 点	
-----	--

教育発達支援系養護教育問題群

選択科目
共通問題

受験番号	E1M -
------	-------

問題 2

得 点	
-----	--

教育発達支援系養護教諭問題群

選択科目
選択問題

受験番号	E1M -
------	-------

選択問題 合計得点	
--------------	--

問題

得点	
----	--